

# 平成24年度当初予算 予算要求シート

整理番号	214 - 006	マスタープラン 3つの挑戦	-	マスタープラン 施策番号	1 - 2	局・課名	西区役所 生活援護課
区分	新規・拡充・重点						(単位 千円)

<b>事業名</b>	生活保護適正化(西区)		平成22年度決算額	平成23年度予算額	平成24年度要求額	
<b>関連事業</b>	健康福祉局 生活保護適正化(本庁)		<b>事業費</b>	27,941	28,993	
<b>事業目的</b>	生活保護の適正化の推進を図ることにより、適切な運営を確保する。		<b>事業期間</b>	H ~ H	全体事業費	
<b>事業内容</b>	<p>①体制整備事業 生活保護面接相談員を雇用し面接相談業務に従事させることで、係長級以上の職員が査察指導に重点的に携わる体制をつくる。</p> <p>②収入資産・扶養義務調査等充実事業 専門の調査員を雇用し、被保護者の年金・手当等の受給権の調査や扶養義務者への援助依頼等に従事させることで生活保護の適正化を図る。</p> <p>③関係職員研修・啓発事業 経験年数別ケースワーカー研修の実施・派遣研修への参加等を通じて優れた人材の育成を行う。</p> <p>④診療報酬明細書等点検充実事業 レセプト点検を専門業者に委託し、点検の強化を図る。また、有資格者を施術点検員として雇用し、内容点検等に従事させることで医療扶助の適正化を図る。</p> <p>⑤介護扶助実施体制整備強化事業 専門の調査員を雇用し、ケアプランチェック等の業務に従事させることで介護扶助の適正化を図る。</p>		<b>今年度要求のポイント</b>			
			<p>西区では、生活保護面接相談員3名と短期臨時職員1名を雇用し、医療扶助適正化が円滑に進むようチェック体制の強化等に努めている。</p> <p>また、債権管理の強化にも力を入れており、今年度は破産等の情報入手のため官報検索サービスを導入し債権管理の強化を図る予算要求する。</p>			
			<b>主要要求内容</b> (単位：千円)			
			項目	23年度予算	24年度要求額	内容・積算等
			人件費	16,221	14,930	嘱託員報酬、短期臨時職員賃金等
			旅費等	948	787	普通旅費、費用弁償
			消耗品等	738	1,111	事務用品等
			通信運搬費	6,800	8,891	郵便料等
			委託料等	3,215	3,228	派遣人件費
			使用料等	0	26	官報検索サービス使用料
			その他	19	20	
			合計	27,941	28,993	
<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>					<b>その他 特記事項</b>	
【経過(～23年度)】		【24年度】		【今後(25年度～)】		
○面接相談員の拡充(7名増)		○医療扶助適正化の取り組み強化 ○債権管理の強化 ○生活保護システムの機能強化		事業の随時見直し・継続実施		